



『ホットアップルケーキ』



材料（5人分）
リンゴ★ 1個
小麦粉 60 g
バター 60 g
砂糖 60 g
卵★ 2個
★は奥州産食材です

作り方 ① リンゴは細かく切っておく

② 室温で溶かしたバターに砂糖を振り入れ、白っぽくクリーム状になるまでよく混ぜる

③ ②に溶き卵を入れてさらに混ぜる

④ ③にふるった小麦粉、リンゴを入れて混ぜる

⑤ 1人分ずつ④をカップに入れて180度で20分くらい焼く

※地場産の江刺りんごを使って作りました

※お好みで、くるみや季節の果物などを入れてもおいしいです

今月のおいしい顔



稻穂わかば園のみんな

Q 携帯サイトの利用にご注意を！

A 携帯電話のインターネットに関する相談が増えていると聞きます。どのような内容ですか（市内30代女性）

A 無料サイトの会員登録後にメールが届き、相手に返信したこと、高額なポイント代を支払うことになつたとい

う相談が寄せられています。

相談消費生活Q&A

消費生活相談は各総合支所で行っています。詳しくは広報おうしゅうお知らせ版の「相談窓口」をご覧ください。

このコーナーでは、普段の生活で実際に相談があつた事例から、その対処法などを紹介します。

【事例】携帯電話の着メロ無料サイトに会員登録したところ、医者と名乗る人から「私の悩みを聞いてほしい」とメーリングが届き、相談された。心配になつて、会員に付与される無料ポイントを使いメールを返したところ「これからも相談にのつてほしい。メール交換に必要なポイント代は私が後で支払う」とメールが届いた。相手の言葉を信じて

トサイトに関する相談が増えていると聞きます。どのように

外出をサポート

障がいを持つお子さん

出を助けるため、次の事業があることをご存知ですか。



6枚づづの福祉乗車券

障がいを持つお子さんの外

出を助けるため、次の事業があることをご存知ですか。

こそだて広場¹⁶ Child-nurturing plaza

おうしゅう子育てガイド→<http://www.city.oshu.iwate.jp/htm/kosodate/>

福祉乗車券の交付

市は、重度の障がいなどを持つお子さんに、タクシーやバスなどで利用できる福祉乗車券を交付しています。

■交付対象II市内に住所があり次の要件に当てはまる人

○身体障害者手帳の等級が1級か2級、または下肢障害が3級

○療育手帳の障害等級がA

○精神障害者保健福祉手帳を持つている

○施設などに入所している場合や、生計を同一にしている人が自動車税や軽自動車税の減免を受けている場合は不可

■交付枚数II1ヵ月当たり6枚（1枚200円）

■利用方法IIタクシー・バスの降車時に利用。料金との差額は現金などで支払う

※1回の利用枚数は限度無し

※福祉乗車券を利用する際は交付対象となつた手帳を携帶して、運転手から提示を求められたときは応じてください

■交付方法II毎年4月から福

祉担当課で申請を受け付け、申請の月から翌年3月分まで交付。手続きには、交付対象となる手帳と印鑑が必要です。

※平成24年度分の交付日程は、後日広報などでお知らせします

※年度ごとに1回限り。紛失した場合も再交付は不可

ます

■問い合わせII本庁福祉課（内線227）、各総合支所福祉担当課

■問い合わせII本庁まちづくり推進課総合交通係（内線461）

コミュニティバスの運賃を割り引き

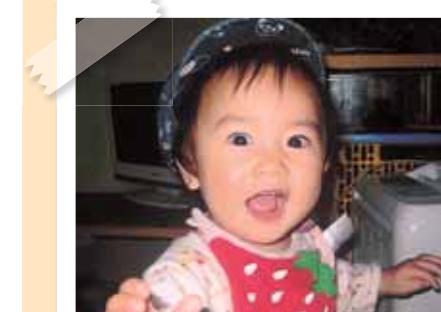
身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳を持つお子さんが、コミュニティバスを利用する場合、本人と付き添い者1人の運賃が半額となります。

■利用方法II降車時に手帳を提示して、割引後の料金を支払う

■対象路線IIバス、市営バス（江刺区）、前沢バス、衣川バス

■問い合わせII本庁まちづくり推進課総合交通係（内線461）

わが家のアイドル⁶⁷



千葉 結菜美 ちゃん (1歳8ヶ月)

二衣川区九輪堂=（仁智さん・陽子さんの四女）



伊藤 愛 ちゃん (8ヶ月)

二江刺区岩谷堂字川原崎=（崇さん・千果さんの長女）



伊藤 李桜 ちゃん (10ヶ月)

二江刺区栄町=（智之さん・淳子さんの長女）

「わが家のアイドル」では、3歳までの赤ちゃんの写真を募集しています。
住所、氏名（ふりがな）、生年月日、続柄、両親の氏名（ふりがな）、電話番号を明記の上、本庁政策企画課広聴広報係（あて先は最終ページ参照）へ。応募多数の場合掲載をお待ちいただきたくことがあります。

力となつたところです。

私がことし進める「協働のまちづくり」は、地域住民がお互いに支え合い、それぞれの個性を生かしながら地域づくりをするものです。それには、まさに絆が重要になります。人と人との「つながり」を大切にしながら、精神的に支え合ふことで、豊かさを感じられるまちづくりを進めたいないと考えております。

依然厳しい財政状況に加え、放射能問題など多くの課題を抱えておりますが、皆さんのが声を大切にし、奥州市の元気を取り戻すよう、ことしも全力で取り組みます。

また、震災の復旧にあたり、行政で対応しきれないところを、個人や民間の市民力で助け合い支援いたげたことは、奥州市のまちづくりの大きな

おこなはれました。

昨年の東日本大震災は、平稳な日常生活を失う一方で、人ととのつながり、絆を強く実感する大きなかかけとなりました。

また、震災の復旧にあたり、行政で対応しきれないところを、個人や民間の市民力で助け合い支援いたげたことは、奥州市のまちづくりの大きな

おこなはれました。

奥州市長 小沢 昌記